

日本と韓国を結ぶ殉教者

殉教顕彰碑を祝福

テグ教区が長崎教区に寄贈

日本の信徒発見から151年を迎えた3月17日(木)、16時から日本二十六聖人記念館(デ・ルカ・レンゾ館長)において、韓国のテグ大司教区から長崎大司教区に寄贈された殉教顕彰碑の除幕と祝福式が行われた。

小市ディエゴと朝鮮人福者カイヨを顕彰する碑は、李(文熙)名譽大司教(テグ)と張(益名)司教(テグ)が加えられている。

顕彰碑の祝福式は、高見三司教とテグ大司教の曹煥吉大



宣教師に宿を貸した罪で投獄されていた小市は、朝鮮から連行されたカイヨと同じ牢獄で出会う。1624年11月15日、2人は一緒に長崎・西坂で火刑に処せられた。カイヨは日本二〇五福者の1人に

司教が司式を務め、韓国からの巡礼団30人余と長崎教区信徒の総勢約50人が参列した。2人の大司教がそれぞれ韓国語と日本語で顕彰碑建立の経緯を説明する中で、高見大司教は「テグ教区に謝意を表すとともに、2人の殉教者は『象徴的に韓国と日本の殉教者を代表しているといえる。生きた国や境遇は違っても、同じ信仰を共有し、キリストの愛によって深い絆をつくり、共に殉教によってその信仰と愛を証した。私たち、国や文化や歴史は違っても、同じ信仰と愛の力によってその違いを超え、理解し合い、より強い絆をつくって、神の愛を証しすることができよう、殉教者の取次ぎを願おう」と招いた。その後、大司教らとレンゾ館長、顕彰碑製作者の崔鍾泰氏(彫刻家・ソウル大学名誉教授)が除幕、司式者が灌水と献香を行い祝福した。また、高見大司教から崔氏に、感謝の言葉と共に記念品と感謝状が贈られた。



日、2人の殉教者の話を聞いて、善き隣人として韓日は一致することができると体感した」と喜びを語った。

「いつくしみの特別聖年」に当たって、国内を巡回中の聖ヨハネ・パウロ二世教皇と聖マリア・ファウスティナ・コヴァルスカ修道女の聖遺物が4月10日(日)、福岡教区から長崎教区へと受け渡され、順次、地区長在任の各教会で顕示されている。

聖遺物はポーランド・クラクフ教区から贈られたもので、「神のいつくしみの主日」を定めた聖ヨハネ・パウロ二世の血と、「神のいつくしみの



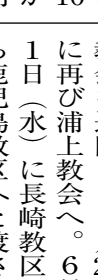
浦上教会では4月17日まで顕示され、同日、滑石教会へと引き継がれた。その後、4月24日から平

テグ教区が長崎教区に寄贈

宣教師に宿を貸した罪で投獄されていた小市は、朝鮮から連行されたカイヨと同じ牢獄で出会う。1624年11月15日、2人は一緒に長崎・西坂で火刑に処せられた。カイヨは日本二〇五福者の1人に

司教が司式を務め、韓国からの巡礼団30人余と長崎教区信徒の総勢約50人が参列した。2人の大司教がそれぞれ韓国語と日本語で顕彰碑建立の経緯を説明する中で、高見大司教は「テグ教区に謝意を表すとともに、2人の殉教者は『象徴的に韓国と日本の殉教者を代表しているといえる。生きた国や境遇は違っても、同じ信仰を共有し、キリストの愛によって深い絆をつくり、共に殉教によってその信仰と愛を証した。私たち、国や文化や歴史は違っても、同じ信仰と愛の力によってその違いを超え、理解し合い、より強い絆をつくって、神の愛を証しすることができよう、殉教者の取次ぎを願おう」と招いた。その後、大司教らとレンゾ館長、顕彰碑製作者の崔鍾泰氏(彫刻家・ソウル大学名誉教授)が除幕、司式者が灌水と献香を行い祝福した。また、高見大司教から崔氏に、感謝の言葉と共に記念品と感謝状が贈られた。

浦上教会では4月17日まで顕示され、同日、滑石教会へと引き継がれた。その後、4月24日から平



浦上教会では4月17日まで顕示され、同日、滑石教会へと引き継がれた。その後、4月24日から平

3月13日(日)15時から浦上教会で、高見三司教の司式のもと司祭・助祭叙階式が行われ、田平教会出身の山内啓輔助祭(写真左)が司祭に、土井ノ浦教会出身の下原和希神学生(同右)が助祭に叙階された。式には100人余の司祭と多



数の修道者・信徒が参列し、心を一つにして司祭と助祭の誕生を見守った。受階者が小神学生時代、長崎カトリック神学院の院長として指導していた浜口末男司教(大分教区)も臨席した。ミサ前の講話は、田平小教区主任の岩村知彦師が務めた。「司

祭の誕生の瞬間は、祈りの力を感じる瞬間でもあります。イエスは『わたしは既に世に勝っている』(ヨハネ16・33)と言われましたが、現在、それは司祭の存在によって実現しているのです。司祭の場合は、皆に仕えることでキリストの勝利を体現します。奉仕によってキリストの勝利を証しする司祭の誕生のために、共に祈りましょう」

叙階の儀の中で高見大司教は訓示し、助祭受階者には「主に仕えるように、人々にも愛と喜びをもって仕え」るように、司祭受階者には「神のこころを黙想し、読んだことを信じ、信じたことを教え、教えたことを実行するよう」求めた。「叙階される者の約束」の後、諸聖人の連願によって聖人たちの取り次ぎを願ひ、按手と叙階の祈りによってまず助祭が続いて司祭が叙

階された。ミサの終わりに、山内師は両親を祝福し、これまでの支えに感謝した。「全能の神、父と子と聖霊の祝福が、お父さんとお母さんの上に豊かにありますように」。感極まりながらも力強く祈る新司祭と、我が子の前に頭を下げひざまずく両親に参列者は拍手を送り、感動と喜びを分かち合った。

叙階式に先立ち、3月10日(木)に選任式が行われ、キム・ボム神学生(テグ教区・シンピョン)が祭壇奉仕者に、宮原大地神学生(桐)が朗読奉仕者に選任された。

3月17日(木)、昨年から日本に固有の祝日となった「日本の信徒発見の聖母」を祝って、高見三司教司式によるミサが19時から国宝・大浦天主堂でささげられた。このミサには、日本二十六聖人記念館での殉教顕彰碑の除幕・祝福式を終えたテグ大司教区からの巡礼団も参加した。

ミサの説教で高見三司教は、信徒発見の翌年(1866年)にプ

祭の誕生の瞬間は、祈りの力を感じる瞬間でもあります。イエスは『わたしは既に世に勝っている』(ヨハネ16・33)と言われましたが、現在、それは司祭の存在によって実現しているのです。司祭の場合は、皆に仕えることでキリストの勝利を体現します。奉仕によってキリストの勝利を証しする司祭の誕生のために、共に祈りましょう」

叙階の儀の中で高見大司教は訓示し、助祭受階者には「主に仕えるように、人々にも愛と喜びをもって仕え」るように、司祭受階者には「神のこころを黙想し、読んだことを信じ、信じたことを教え、教えたことを実行するよう」求めた。「叙階される者の約束」の後、諸聖人の連願によって聖人たちの取り次ぎを願ひ、按手と叙階の祈りによってまず助祭が続いて司祭が叙

階された。ミサの終わりに、山内師は両親を祝福し、これまでの支えに感謝した。「全能の神、父と子と聖霊の祝福が、お父さんとお母さんの上に豊かにありますように」。感極まりながらも力強く祈る新司祭と、我が子の前に頭を下げひざまずく両親に参列者は拍手を送り、感動と喜びを分かち合った。

叙階式に先立ち、3月10日(木)に選任式が行われ、キム・ボム神学生(テグ教区・シンピョン)が祭壇奉仕者に、宮原大地神学生(桐)が朗読奉仕者に選任された。

3月17日(木)、昨年から日本に固有の祝日となった「日本の信徒発見の聖母」を祝って、高見三司教司式によるミサが19時から国宝・大浦天主堂でささげられた。このミサには、日本二十六聖人記念館での殉教顕彰碑の除幕・祝福式を終えたテグ大司教区からの巡礼団も参加した。

ミサの説教で高見三司教は、信徒発見の翌年(1866年)にプ

ミサの説教で高見三司教は、信徒発見の翌年(1866年)にプ

山内啓輔神父と下原和希助祭が誕生 叙階は祈りの力を感じる時

祭職は、本人にも家族にも喜びですが、すべての人の喜びです。司

祭の誕生の瞬間は、祈りの力を感じる瞬間でもあります。イエスは『わたしは既に世に勝っている』(ヨハネ16・33)と言われましたが、現在、それは司祭の存在によって実現しているのです。司祭の場合は、皆に仕えることでキリストの勝利を体現します。奉仕によってキリストの勝利を証しする司祭の誕生のために、共に祈りましょう」

叙階の儀の中で高見大司教は訓示し、助祭受階者には「主に仕えるように、人々にも愛と喜びをもって仕え」るように、司祭受階者には「神のこころを黙想し、読んだことを信じ、信じたことを教え、教えたことを実行するよう」求めた。「叙階される者の約束」の後、諸聖人の連願によって聖人たちの取り次ぎを願ひ、按手と叙階の祈りによってまず助祭が続いて司祭が叙

階された。ミサの終わりに、山内師は両親を祝福し、これまでの支えに感謝した。「全能の神、父と子と聖霊の祝福が、お父さんとお母さんの上に豊かにありますように」。感極まりながらも力強く祈る新司祭と、我が子の前に頭を下げひざまずく両親に参列者は拍手を送り、感動と喜びを分かち合った。

叙階式に先立ち、3月10日(木)に選任式が行われ、キム・ボム神学生(テグ教区・シンピョン)が祭壇奉仕者に、宮原大地神学生(桐)が朗読奉仕者に選任された。

3月17日(木)、昨年から日本に固有の祝日となった「日本の信徒発見の聖母」を祝って、高見三司教司式によるミサが19時から国宝・大浦天主堂でささげられた。このミサには、日本二十六聖人記念館での殉教顕彰碑の除幕・祝福式を終えたテグ大司教区からの巡礼団も参加した。

ミサの説教で高見三司教は、信徒発見の翌年(1866年)にプ



カトリック長崎大司教区
広報委員会
〒852-8113
長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
Tel. 095-843-3869
Fax 095-843-3417
振替口座 01880-5-2699
発行人
大 水 文 隆
印刷所
株式会社 藤木博英社

「熊本地震」募金
郵便振替番号
00170・5・95979
加入者名
宗教法人カトリック中央協議会
カリタスジャパン
*通信欄に「熊本地震」とご明記
ください

新たな歩みを始めよう

「日本の信徒発見の聖母」の祝日

3月14日(月) 教区顧問会が、大司教館で開催され、2016年度予算案、記念碑・顕彰碑などの管理、日本キリシタン歴史博物館のオープン時期などが審議された。

予算案の審議では、信徒発見150周年記念に関連する行事が終了したこともあり、15年度より4千660万円少ない、5億6千223万5千円が予算が承認された。

また、教区内には記念

碑・顕彰碑を含む信心施設があり、それらを維持・補修するに当たって教区として一定の方針を提示する必要があるため、教

区が単独もしくは近隣の複数の小教区で管理する施設の補修が必要となり、資金的な援助を要する場合は、まず

の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録が遅れる見通しとなったことから、1年延期された。

また、例年6月に行われていた司祭黙想会が5月24日(火)から27日(金)にかけて大司教館で、長崎教会管区司祭集会が10月25日(火)から27日(木)にかけて福岡市で行われるなど、行事の日程も確認された。

共に生きる」という長崎教区の新たな歩みを始めよう、と呼び掛けた。

ミサで用意されていた300枚のホスチアでは足りず、ミサ後に大浦教会で聖体拝領を補うというハプニングもあった。

大浦天主堂でのミサに初めて参加したという20代の男性信徒は、「潜伏と信徒発見を経て僕たちがいるので、そういった信仰を守り、継いでいくのは大事だとあらためて感じた」と話していた。



戸、5月1日から相浦、8日から青方、15日から福江、22日から中町の各教会を巡回し、5月29日(水)に長崎教区から鹿児島教区へと渡される。

戸、5月1日から相浦、8日から青方、15日から福江、22日から中町の各教会を巡回し、5月29日(水)に長崎教区から鹿児島教区へと渡される。

神のいつくしみに倣って

2聖人の聖遺物を各地区で顕示

「いつくしみの特別聖年」に当たって、国内を巡回中の聖ヨハネ・パウロ二世教皇と聖マリア・ファウスティナ・コヴァルスカ修道女の聖遺物が4月10日(日)、福岡教区から長崎教区へと受け渡され、順次、地区長在任の各教会で顕示されている。

聖遺物はポーランド・クラクフ教区から贈られたもので、「神のいつくしみの主日」を定めた聖ヨハネ・パウロ二世の血と、「神のいつくしみの

浦上教会では4月17日まで顕示され、同日、滑石教会へと引き継がれた。その後、4月24日から平

長崎に根ざした医療奉仕 聖霊の導くまに

聖フランシスコ病院修道女会



活動が始まりました。1948年、アメリカ管区は、日本、特に姫路(現在の日本管区本部所在地)と長崎での医療奉仕活動に招かれました。くしくも中国宣教を断念し帰国の途につこうとしていたアメリカ管区の国際的な姉妹たちに声がかかり、聖霊の導くまにとはいえ、単語もわからない新しい異国の地、長崎と姫路での奉仕活動を始めるとになりました。

聖フランシスコ病院修道女会は、ドイツのテルヒテという小さな巡礼地で、フランシスコ会司祭のもと1844年に創設されました。戦禍のきびしい当時、病の床にあって世話を受けることができない老人や子どもたちを奉仕することが、目の前の必要であり目的となったようです。間もなく国を超えての

活動が始まりました。1948年、アメリカ管区は、日本、特に姫路(現在の日本管区本部所在地)と長崎での医療奉仕活動に招かれました。くしくも中国宣教を断念し帰国の途につこうとしていたアメリカ管区の国際的な姉妹たちに声がかかり、聖霊の導くまにとはいえ、単語もわからない新しい異国の地、長崎と姫路での奉仕活動を始めるとになりました。

ながら、委ねられた使命を果たせるようにと願っています。これからもどうぞよろしく願っています。

お知らせください

第4日曜日にベトナム語ミサ

今年の復活の祭日(3月27日)、西町教会でのベトナム語ミサの中で幼児洗礼が行われ、一人のメンバーが増えました(写真)。ベトナム語のミサは毎月第4日曜日に、聖ルドヴィコ神学院や西町教会で行われています。今までミサの時間は、夜7時でしたが、4月から午後3時になります。

2013年に私は聖ルドヴィコ神学院に任命されました。神学生の養成を担当しながら、長崎にいるベトナム人の司牧が必要だと思い、聖フランシスコ病院のベトナム人シスターに協力していただき、ベトナム人共同体づくりを始めました。月に一度集まって、母国



も忘れず、熱心に祈り、御ミサにあずかることは大事なことです。若い信者にとつて、聖地である長崎で生活することは貴重な経験です。日本の殉教者たちの強い信仰に倣い、聖人たちの取り次ぎをお願い、どんな困難をも耐え忍び、生き抜いて生きていくことができるように心から祈ります。

「そしてサンタ・マリアがいた」を観て(1)

今年2月20日(土)と21日(日)、新上五島町石油備蓄記念会館で上演され、約1800人が集った日本の信徒発見150周年記念劇。小中高生の黙想に充てるとの上五島地区司祭団の決定により、多くの児童や生徒たちも鑑賞した。高見三司大司教はこの劇を、「信仰を共に確認する上で、とても有意義で感動を伴う効果的なカテキス」と評したが、その思いは彼らにも届いたのである。鯛之浦小教会の小中学生の感想文(抜粋)を、2回にわたって紹介する。

【学年は2015年度】

◆私は、今まで教会にないことも、「私はキリスト教です」ということ、許されなかったんだ。行きたくないなあとか思っていた。だけどこの劇を見て、昔はお祈りする

ることも、「私はキリスト教です」ということ、許されなかったんだ。行きたくないなあとか思っていた。だけどこの劇を見て、昔はお祈りする

ることも、「私はキリスト教です」ということ、許されなかったんだ。行きたくないなあとか思っていた。だけどこの劇を見て、昔はお祈りする

ることも、「私はキリスト教です」ということ、許されなかったんだ。行きたくないなあとか思っていた。だけどこの劇を見て、昔はお祈りする

ることも、「私はキリスト教です」ということ、許されなかったんだ。行きたくないなあとか思っていた。だけどこの劇を見て、昔はお祈りする

ることも、「私はキリスト教です」ということ、許されなかったんだ。行きたくないなあとか思っていた。だけどこの劇を見て、昔はお祈りする

ることも、「私はキリスト教です」ということ、許されなかったんだ。行きたくないなあとか思っていた。だけどこの劇を見て、昔はお祈りする

ることも、「私はキリスト教です」ということ、許されなかったんだ。行きたくないなあとか思っていた。だけどこの劇を見て、昔はお祈りする

ることも、「私はキリスト教です」ということ、許されなかったんだ。行きたくないなあとか思っていた。だけどこの劇を見て、昔はお祈りする



アウグスチヌス 片岡哲夫神父 (フランシスコ会)

◆私がこの劇を見て一番心に残っているのは、まだ禁教令がとかれていなかったころ、村の信者の人たちが、年に一度の「ふみ絵」をしなければいけなかったことです。本当は信仰を守っていた、神さまのことを信じていたのに、うそをつかないと殺されてしまった。こんなことをしなればいけない信者たちは、かわいそうだなと思ひました。そして、おわびの気持ちで毎日祈りをかかさず、ふみ絵をした足で水で洗って自分の体にお

◆私がこの劇を見て一番心に残っているのは、まだ禁教令がとかれていなかったころ、村の信者の人たちが、年に一度の「ふみ絵」をしなければいけなかったことです。本当は信仰を守っていた、神さまのことを信じていたのに、うそをつかないと殺されてしまった。こんなことをしなればいけない信者たちは、かわいそうだなと思ひました。そして、おわびの気持ちで毎日祈りをかかさず、ふみ絵をした足で水で洗って自分の体にお

◆私がこの劇を見て一番心に残っているのは、まだ禁教令がとかれていなかったころ、村の信者の人たちが、年に一度の「ふみ絵」をしなければいけなかったことです。本当は信仰を守っていた、神さまのことを信じていたのに、うそをつかないと殺されてしまった。こんなことをしなればいけない信者たちは、かわいそうだなと思ひました。そして、おわびの気持ちで毎日祈りをかかさず、ふみ絵をした足で水で洗って自分の体にお

◆私がこの劇を見て一番心に残っているのは、まだ禁教令がとかれていなかったころ、村の信者の人たちが、年に一度の「ふみ絵」をしなければいけなかったことです。本当は信仰を守っていた、神さまのことを信じていたのに、うそをつかないと殺されてしまった。こんなことをしなればいけない信者たちは、かわいそうだなと思ひました。そして、おわびの気持ちで毎日祈りをかかさず、ふみ絵をした足で水で洗って自分の体にお

◆私がこの劇を見て一番心に残っているのは、まだ禁教令がとかれていなかったころ、村の信者の人たちが、年に一度の「ふみ絵」をしなければいけなかったことです。本当は信仰を守っていた、神さまのことを信じていたのに、うそをつかないと殺されてしまった。こんなことをしなればいけない信者たちは、かわいそうだなと思ひました。そして、おわびの気持ちで毎日祈りをかかさず、ふみ絵をした足で水で洗って自分の体にお



「そしてサンタ・マリアがいた」の舞台演出、高見三司大司教。

オナジ 信仰を次代へ

劇団さばと座による信徒発見劇

日本の信徒発見150周年記念劇「そしてサンタ・マリアがいた」——キリシタン復活物語——が4月9日(土)と10日(日)、長崎市の長崎ブリックホールで上演され、2日間約2700人が観劇した。劇団さばと座(信徒・司祭・有志の市民ら約70

の養成理念と方法を定めることになった。その主体となる大司教を座長とする専門チームの編成は、大司教と信仰養成部長に一人任することになった。同チームは2016年度内に、養成理念と方法を決定する予定。以上をもって、今年度の目標であった基本計画と優先課題の検討を終え、次の段階へ進むことになる。

脚本と監督を手掛けた古巣 聖師(大司教館)は、「150年前の神の御業をなぞったこの舞台になりました。願う人祈る人たちの思いが一つになったら、大切な事ははっきりと見え、しっかりと次代へ伝わっていくことを教わりました。黙々と稽古をし、生活を捧げた団員にとって、受けた信仰の追体験でした。オナジ 信仰で感動できたなら、長崎の教会はまた復活します」と語った。

長崎カトリック神学院 ●林田真吾様 (城山) 右の方からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

感謝

一 寄付

本格的な提言実施に向けて

第4回教区シノドス提言推進会議

3月20日(日)15時、第4回教区シノドス提言推進会議が司教館で開催され、小共同体づくり、「みざりこるぢあ長崎」(仮称)の設立の検討、カテキスの養成理念と方法を定める専門チームの設置などについて協議された。

教区シノドス公式提言によると、「小共同体」づくりは、今後は教区・地区・小教区評議会を通して推進していく(提言2・3)とされている。しかし、現場での推進が困難な現状を踏まえ、教区評議会の下

タン時代の「慈悲の組」の現代版「みざりこるぢあ長崎」(仮称)の設立の検討については、福祉や人権などの課題に取り

の養成理念と方法を定めることになった。その主体となる大司教を座長とする専門チームの編成は、大司教と信仰養成部長に一人任することになった。同チームは2016年度内に、養成理念と方法を決定する予定。以上をもって、今年度の目標であった基本計画と優先課題の検討を終え、次の段階へ進むことになる。

かどう園

雲仙殉教祭 5月8日

雲仙メモリアルホール。13時開会、13時30分ミサ、15時巡礼。

井持浦ルルド祭 5月8日(日)13時、井持浦教会。

日本カトリック女性団体連盟(日力連) 長崎総会 5月16日(月)・17日(火)、中町教会。

教区司祭黙想会 5月24日(火)・27日(金)大司教館

公開聖書講座「わたしが喜びのは愛であっていいにえではない」(ホセア6・6)の意味を探る」 6月9日(木)19時・20時30分、カトリックセ

ンター。講師・高見三司大司教。前売券800円・当日券1000円。申込先・教区生涯養成委員会。095・841・7731

長崎カトリック神学院 ●林田真吾様 (城山) 右の方からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

ア診療所(現在の聖マリア病院)で看護師、保健師として奉仕した。その後、聖マリアの園、聖マルコ園久賀島のデイサービス施設の施設長として重責を担い、平戸口と丸尾では教会奉仕に携わった。福江修道院では姉妹のために料理の腕を振るい、最後の数年は祈る人として奉獻生活の仕上げを行った。穏やかな笑顔でその時々委ねられた任務を忠実に果たし、自

然体で人に接した。葬儀ミサ・告別式は8日、福江教会で行われた。

4月7日、老衰のため福江修道院で逝去。89歳。1926年五島市生まれ。46年奥浦修道院に入会。58年初誓願、65年終生誓願宣立。慈恵院診療所で看護師見習い、勉学後、開設間もない聖マリ

4月6日聖フランシスコ病院で逝去。89歳。1926年長崎市三原町生まれ。46年着衣、47年修道誓願宣立、51年莊嚴誓願宣立、52年司祭叙階。

53年田園調布教会助

4月6日聖フランシスコ病院で逝去。89歳。1926年長崎市三原町生まれ。46年着衣、47年修道誓願宣立、51年莊嚴誓願宣立、52年司祭叙階。

53年田園調布教会助

4月6日聖フランシスコ病院で逝去。89歳。1926年長崎市三原町生まれ。46年着衣、47年修道誓願宣立、51年莊嚴誓願宣立、52年司祭叙階。

53年田園調布教会助

4月6日聖フランシスコ病院で逝去。89歳。1926年長崎市三原町生まれ。46年着衣、47年修道誓願宣立、51年莊嚴誓願宣立、52年司祭叙階。

53年田園調布教会助

4月6日聖フランシスコ病院で逝去。89歳。1926年長崎市三原町生まれ。46年着衣、47年修道誓願宣立、51年莊嚴誓願宣立、52年司祭叙階。

53年田園調布教会助

4月6日聖フランシスコ病院で逝去。89歳。1926年長崎市三原町生まれ。46年着衣、47年修道誓願宣立、51年莊嚴誓願宣立、52年司祭叙階。

53年田園調布教会助

4月6日聖フランシスコ病院で逝去。89歳。1926年長崎市三原町生まれ。46年着衣、47年修道誓願宣立、51年莊嚴誓願宣立、52年司祭叙階。

53年田園調布教会助

4月6日聖フランシスコ病院で逝去。89歳。1926年長崎市三原町生まれ。46年着衣、47年修道誓願宣立、51年莊嚴誓願宣立、52年司祭叙階。

53年田園調布教会助

4月6日聖フランシスコ病院で逝去。89歳。1926年長崎市三原町生まれ。46年着衣、47年修道誓願宣立、51年莊嚴誓願宣立、52年司祭叙階。

53年田園調布教会助

4月6日聖フランシスコ病院で逝去。89歳。1926年長崎市三原町生まれ。46年着衣、47年修道誓願宣立、51年莊嚴誓願宣立、52年司祭叙階。

53年田園調布教会助

4月6日聖フランシスコ病院で逝去。89歳。1926年長崎市三原町生まれ。46年着衣、47年修道誓願宣立、51年莊嚴誓願宣立、52年司祭叙階。

53年田園調布教会助

4月6日聖フランシスコ病院で逝去。89歳。1926年長崎市三原町生まれ。46年着衣、47年修道誓願宣立、51年莊嚴誓願宣立、52年司祭叙階。

53年田園調布教会助

力強く神を証ししよう

佐世保北部と南部で合同堅信式



3月6日(日)佐世保地区北部の合同堅信式が大崎教会で行われた。7小教区(相浦・大崎・梅崎・神崎・浅子・佐々・黒島)に平戸地区の紐差小教区から1人が加わり、中学生41人と大人3人の計44人が受堅者として、またそれぞれの代父母、保護者らを含めて約150人が集った。

11時から始まったミサの中で、高見三司大司教は受堅者に「キリストとの結びつきを強めてその主と共に働くわれらは主と共にその実りを味わう」と語り、(典礼聖歌107)



この日の受堅者は、中学生41人、大人14人。中村倫明師(三浦町主任)は、「少子化の社会の中で、ある教会には13人の中学生受堅者がいました。8人もの大人受堅者がいた教会もありました。どちらも恵みです。まだまだ子どもたちがいるということ。そして、大人になって洗礼を受ける方もおられるということ」と述べ、信者数減少という現実の中にも、確かな恵みと希望があることを喜んでいました。

堅信式後はそれぞれの教会に帰り、受堅者を囲んでお祝いがあった。

写真映像プロダクション「ロダクシオン」(長崎市平野町)に勤務し、近年では188殉教者列福式や日本二十六聖人列聖150周年、信徒発見150周年記念行事の公式カメラマンを務めた。所属する大浦教会の広報委員長。カトリック教報などへの写真の提供にも協力している。

幼い頃は毎日、一番ミサの侍者をしてきた。「中島政利神父様が主任だった当時、今の旧大司教館は司祭館で、中庭ではバザーもありました。告解

部屋で友達と騒いで、山口大司教様から叱られたことも記憶にあります」現広報委員長の任は、主任司祭からの呼び掛けで委員会に入ったところ、すぐに抜擢され、以来15

教区・小教区の広報を支える

ドイツ勤務 中島秀幸さん



「教会ニュース」について、中島さんは「ドイツに少くなく、出張先から印刷所へ電子メールで入稿することもある。忙しい中でも、昔から教会は福音を伝え、撮っています」

「画的に、上昇する場面をどう撮るか。客観的に自分を見る『もう一人の自分』との葛藤もある。それが神なのか何なのか分からないけれど、最高の瞬間を逃さないように」

「1981年ヨハネ・パウロ2世教皇来崎と82年マザー・テレサ来崎の折は取材班に。88年には故結城了悟神父と高原至さん(ドイツ創業者)に

「カメラとの出会いは小学生の時。父親から撮り方を教わった。60歳。家で『つどい』校正の手伝いをしてくれる妻美恵子さんと次女の3人暮らし

いつくしみの実践を

本部事務局主催の特別講座

「いつくしみの特別聖年」を有意義なものとするために企画された、教区本部事務局主催の「特別講座」。今年2月、11月の毎週火曜日(8月などを除く)19時から1

時間、毎回15人の参加のもと、カトリックセンターで

「いつくしみの特別聖年」を有意義なものとするために企画された、教区本部事務局主催の「特別講座」。今年2月、11月の毎週火曜日(8月などを除く)19時から1

「いつくしみの特別聖年」を有意義なものとするために企画された、教区本部事務局主催の「特別講座」。今年2月、11月の毎週火曜日(8月などを除く)19時から1

「いつくしみの特別聖年」を有意義なものとするために企画された、教区本部事務局主催の「特別講座」。今年2月、11月の毎週火曜日(8月などを除く)19時から1

わたしがあなたがたを選んだ

今春、進学した長崎教区神学生および教区内の神学校・志願院に入学した者は左記の通り。

◆福岡コレジオ

大学1年 山崎航 (出津)

◆長崎カトリック神学院

中学1年 谷口裕翔 (浦上)

森本想 (浦上)

山口良 (天野)

鈴木涼太郎 (福岡・今村)

◆聖ルドヴィコ神学院

中学1年 小川耕生 (植松)

◆聖コルベ志願院

中学1年 ホアン・ドウ・ミンディン (兵庫・姫路)

空閑竜乗 (福岡・笹丘)

中村静流 (大崎)

中村静流 (大崎)

大槌ベースボランティア募集

- 6月9日(木)~15日(木) (5月11日締切)
- 7月7日(木)~13日(木) (6月8日締切)
- 9月15日(木)~21日(木) (8月17日締切)

申し込みは所属小教区へ。問い合わせは教区本部事務局(松尾)まで。

TEL 095-842-4450 FAX 095-842-4460

「訂正」
二〇一六年度「カトリック教会祝日表」
・43頁の「二十六聖人記念館」の名称は、「日本二十六聖人記念館」
・47頁の純心聖母会佐世保修道院の住所は、〒857-0863 佐世保市三浦町5-7-26。
・54頁の援助マリア修道会長崎修道院の住所は、〒852-8123 長崎市三原2丁目21-25。

家庭祭壇・聖具・祭壇・長椅子・朗読台

注文家具の店(0956)23-1867

佳織木工所 代表 ラウラ・ビクーニア 濱口佳織

主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二

長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

タンスの中身は入れたまま責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送も致します)

24時間営業・年中無休
受付時間 7:00~22:00

水浦運送

シモン 水浦 幹雄

長崎市上野町12-3
TEL(095)847-7151
844-1420

精道三川台小学校(男子校)

本校はカトリックの教育理念に従って全人格的な成長を促し、本当の幸せを知り、味わい、そして周りの人々にその幸せを与えることのできる子供たちを育成します。

児童募集

是非、精道三川台へお越しください。お待ちしております!

第1回 学校公開週間	平成28年5月23日(月)~27日(金)
第1回 学校説明会・公開授業	平成28年5月29日(日)
オープンスクール(園児学校体験)	平成28年7月31日(日)
第2回 学校公開週間	平成28年9月26日(月)~30日(金)
第2回 学校説明会・公開授業	平成28年10月1日(土)
第3回 学校説明会・公開授業	平成29年1月14日(土)

〈お問合せ・資料請求〉

〒852-8121
長崎市三川町 1234-1
TEL.095-845-6846
http://www.seido.ed.jp/